

客観性信仰の危うさ



現代社会

- 数値やデータが正しいとされがち
- ⇒人間の心や複雑さをすべて表せない

医療の現場

- 患者の「痛み」をデータ化
- ⇒ 害になることもあると警鐘

客観性や数値

- あくまで道具、目的ではない

数字が生む分断と競争

数字に支配された世界

- 役に立つかが指標に
- 役立たなければ排除



社会的弱者

- 大学での学生のコスパ重視の意見
- 数値至上主義で冷たい目が向けられている
- ⇒ 落とし穴に落ちると窮屈な世界に

語りが支える人間理解

どうすれば？

- 「語り」
- 「現象学的な質的研究」

⇒ 生の経験 を言葉として受け止める力



（例）

- がん患者さんや医療現場の声
- 大学生や貧困地域での体験